

# 令和3年度第1回曾於保健医療圏地域医療構想調整会議 開催結果

日 時：令和3年7月14日（水）18:00～19:25  
 場 所：曾於市大隅農産加工センター  
 出席者：曾於保健医療圏地域医療構想調整会議委員15人（うち代理出席3人，欠席1人）  
 傍聴者等：16人（委員随行者・関係者を含む），事務局5人

## 1 議事内容

### (1) 報告事項

- ① これまでの協議の経緯について
- ② 令和元年度病床機能報告集計結果及び定量的基準との照合結果について

### (2) 協議事項

- ① 曾於医師会立有明病院の具体的対応方針の変更について
- ② 令和3年度地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）に係る事業計画について

## 2 協議結果

### (1) 曾於医師会立有明病院の具体的対応方針の変更について

#### 【結果】

曾於医師会立有明病院から具体的対応方針の変更について説明がなされ，委員から特段の意見等はなく，対応方針の変更について合意が図られた。

### (2) 令和3年度地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）に係る事業計画について

#### 【地域医療構想調整会議としての意見】

曾於医師会立病院及び曾於医師会立有明病院を統合し機能強化を図る，この目的のために，有明病院を廃止しスタッフを曾於医師会立病院に集約するという考え方は地域医療構想の実現に資すると判断する。

	委員からの主な意見等
曾於医師会立病院及び曾於医師会立有明病院 （統合支援給付金支給事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曾於医師会立病院と曾於医師会立有明病院（以下，有明病院）が統合され，有明病院を廃止するという事は，地域医療構想として病床の配置が上手に考えられている。有明病院を閉院するにあたってスタッフを曾於医師会立病院に吸収することで，曾於医師会立病院の機能強化を図ることにつながる。曾於医師会立病院は，曾於保健医療圏の中核病院として，もっと充実して欲しい。</li> <li>・曾於医師会立病院の休床中の病床は新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病床として稼働しており，有明病院の看護師等のスタッフを吸収することは存続する曾於医師会立病院の感染症対応機能の強化につながる。</li> <li>・今後，シームレスな医療体制をつないでいくときに，訪問看護，訪問診療はとても重要であり，有明病院の看護師等の医療資源を曾於医師会立病院に吸収することで在宅医療機能を強化し地域の医療の充実を図ることは大事である。</li> <li>・曾於医師会立病院は県がん診療指定病院でもあるので，がん患者の訪問診療や訪問看護を担っていくことで地域の医療の充実につながっていくと考える。</li> </ul> <p>【地域医療構想調整会議としての意見】                      曾於医師会立病院及び曾於医師会立有明病院の統合支援給付金支給事業に係る事業計画については，曾於保健医療圏の地域医療構想の実現に資するものと認められる。</p>
曾於医師会立有明病院 （単独支援給付金支給事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年の病床数と地域医療構想における2025年の必要病床数を比較すると，急性期と慢性期は過剰であり，有明病院の急性期と慢性期の病床を廃止することは地域医療構想に合致することである。また有明病院の職員を曾於医師会立病院に吸収し，医療資源を大事にしつつ，地域医療の強化を図ることは地域医療構想に合致した選択である。</li> </ul> <p>【地域医療構想調整会議としての意見】                      曾於医師会立有明病院の単独支援給付金支給事業に係る事業計画については，曾於保健医療圏の地域医療構想の実現に資するものと認められる。</p>